

主任研修発表会

# 看護の可視化 【事例検討会】

今年の主任研修は、『看護を可視化することで、自己の看護観を再認識でき、看護実践の役割モデルになることができる。』を目的に取り組みました。各部署の主任看護師が事例検討を行い、11月25日(水)に25事例の成果発表会をしました。主任看護師だけでなくたくさんの看護師が参加し、意見交換を行い、有意義な時間を過ごすことができました。

ラダーIV研究	事例検討会	平成27年11月
氏名	テーマ	キーワード
1 10 村田 恵由美	血管外漏出に気づいた事例の振り返りを通して看護観の再認識を促す	看護観の再認識
2 10 門倉 賢士	救命救急センターにおける災害シミュレーションの意義	災害のシミュレーション
3 20 鈴木 佳子	予備診断の輸出性診療の拡大と予備全額を行った事例	チーム医療 労務支援
4 3A 仲田 真純子	臨床がある患者への臨床と向き合い	身体拘束 規範的な行動
5 3B 藤原 小ゆき	患者の意思決定に向けたチーム医療としての関わり	意思決定 チーム医療
6 4A 藤井 聡子	空室稼働と診断された症への関わりから、小児病棟における母乳育児支援を考える	部下 母乳育児
7 4B 池田 敬子	認知症の患者と家族を支援する退院支援への関わりを通して	認知症 人間関係
8 4B 内藤 由香	患者を一人の人間として理解し寄り添える看護を目指して	患者理解 3Dコミュニケーション
9 4B 長原 優子	患者の病の体験を理解する	患者の病の体験 ヴァルディング
10 5A 藤 もはる	患者を知りたい、理解したい	患者の存在 チーム医療
11 5B 中井 美江	終末期患者に対する「その人らしさ」を大切にすること	コミュニケーション 意思決定
12 5B 藤野 聖子	看護観を踏まえた関わりから自己の傾向を振り返る	心の看護 人間関係
13 6B 切方 麻理子	終末期患者の療養生活への支援について	終末期 在宅支援
14 6B 武藤 朋美	認知症を患出した家族との関わりを通して自分の看護観を振り返る	家族の認知症 看護観の再認識
15 7B 岡本 麻美子	その人らしさを大切にすること	患者の個別性 チーム医療
16 8A 藤 弘美	思いの届かない患者とのチーム医療を振り返る	看護支援 チーム医療
17 8B 池田 聡子	精神で人間になった経験への看護実践の振り返り	認知症 精神科
18 8B 望月 真由美	認知症ケアにおける患者の意思決定の関わりを振り返る	認知症ケア ストリーミング
19 7B 湯浅 山本 由香	セブチンマシ稼働中、医療状況が急変した患者への介入	セブチンマシ 医療状況
20 8B NDL 橋本 中か	予備全額と診断された子どもをもつ母親の受診過程に思いを馳せる	予備全額 母親の心理的ケア
21 8B GCU 山口 美貴子	患者を持つ親への関わりを通して	認知症 認知症科
22 10U 入野 聖恵	自己決定と看護観のシンクロについて	自己決定 看護観の再認識
23 11C 藤野 聖子	患者さんに寄り添う	患者さんへの関わり
24 12 志津 小林 紅葉	施設退院から血液透析科へ移行する患者への関わりを通して	施設退院 血液透析科
25 12 志津 乙葉 聡子	対応に苦慮した透析科病室を振り返る血液透析導入患者への関わり	血液透析 血液透析科





主任看護師さんからの  
メッセージ

## 大切にしていること・一番伝えたいこと

☆今回チームでの関わりは、患者の気持ちを「さっ」し患者の思いに寄り添い信頼関係を気付くことができました。看護する上で困った時にアドバイスしてくれる仲間の大切さ、助言をもらえる環境の大切さに感謝しています。

8A 星さん

☆育児は、本来家庭で学ぶものですが、現在は病院で伝達していく時代と感じています。

時代の変化に応じて子と親と向き合い支援していくことが重要であり、疾患のみではなく精神的に社会的にサポートしていくことを大切にしていきたいです。 4A 櫻井さん

☆今回の事例検討を通して、私が看護をする上で大切にしている、患者を知りたい、理解したいという気持ちは、患者にどのような看護が必要なのかを導き出し、提供するための基盤であることが再認識できました。

5A 畑さん